

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
325	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳) :</b>	
Alcohol consumption and the long-term incidence of cataract and cataract surgery: the Blue Mountains Eye Study. 飲酒と白内障発症および白内障手術の関連について	
<b>執筆者 :</b>	
Kanthan GL, Mitchell P, Burlutsky G, Wang JJ.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日) :</b>	
Am J Ophthalmol. 2010 Sep;150(3):434-440.e1. Epub 2010 Jul 8.	
<b>キーワード :</b>	
飲酒、白内障、発症率、白内障手術	
<b>要 旨</b>	
<b>目的 :</b> 地域住民を対象とした前向きコホート研究において飲酒と長期の白内障発症および白内障手術との関連を明らかにする。	
<b>方法 :</b> ベースライン調査時 49 歳以上の地域住民 3654 人を対象として 5 年後および 10 年後に再調査を行った。2564 人が再調査を受検した。5 年および 10 年後の再調査時にレンズの写真を撮影し、ウィスコンシン白内障グレーディングスコアを用いて、被験者の情報を隠した状態で評価した。飲酒状況に関する情報は面接により聴取した。ロジステック回帰モデルにて、飲酒による白内障発症の多変量調整オッズ比 (OR) と 95%信頼区間 (95%CI) を算出した。	
<b>結果 :</b> 飲酒は長期の白内障 (核、皮質、後房) 発症リスクと統計的有意な関連を認めなかった。しかし、年齢、性別、喫煙習慣、糖尿病、社会的地位、ステロイド使用を調整すると、一日あたり 2 杯以上の飲酒する者は、一日 2 杯未満の者を対照とすると白内障手術のリスクの上昇が認められた (OR(95%CI)=2.1(1.16-3.81))。非飲酒者は一日 2 杯未満の者を対照とすると白内障手術のリスク上昇を認めた (OR(95%CI)=2.36(1.25-4.46))。	
<b>結論 :</b> 飲酒と長期の白内障手術のリスクは U 字型の関連を認めた。中等度の飲酒は非飲酒者や多量飲酒者と比較して白内障手術のリスクが 50%低かった。	